

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部署	金額(円)	補助元又は委託元
血漿中チオレドキシシン結合蛋白の同定とその機能解析	AHSAN M.K. (特別研究員) 中村肇 助教授	探索医療センター	1,200,000	補 委 文部科学省特別 研究員奨励費継 続
チオレドキシシンを高発現する骨髄間質細胞を用いた 劇症肝炎・肝不全治療	奥山 裕照	探索医療センター	1,340,000	補 委 文部科学省若手 研究(スタート アップ)継続
ヒト心筋幹細胞移植療法の前臨床的確立と細胞組織 工学によるハイブリッド療法の開発	王 英正	探索医療センター	5,850,000	補 委 文部科学省基盤 研究(B)継続
Cre-loxPシステムを用いたAkt依存性に 活性化される心筋細胞再生因子の単離	王 英正	探索医療センター	3,300,000	補 委 文部科学省萌芽 研究新規
Expression cloning法による心 筋細胞分化制御因子の同定と機能解析	上山 知己	探索医療センター	1,690,000	補 委 文部科学省基盤 研究(C)継続
血管再構築・動脈硬化病変における造血幹細胞関与 の分子機序と創薬標的の探索研究	横出 正之	探索医療センター	1,950,000	補 委 文部科学省基盤 研究(C)継続
先端医療の開発に必要な臨床試験を支える倫理基盤 の整備	村山 敏典	探索医療センター	2,470,000	補 委 文部科学省基盤 研究(C)新規
膵β細胞の分化とインスリン分泌機能獲得における 転写因子の役割	宮脇 一真	探索医療センター	1,000,000	補 委 文部科学省若手 研究(B)継続
膵腺房細胞からインスリン分泌細胞への分化転換メ カニズムの解明	南 幸太郎	探索医療センター	1,300,000	補 委 文部科学省基盤 研究(C)継続
再生医療等の先端医療分野におけるインフォーム ド・コンセント取得と生命倫理に関する研究	横出 正之	探索医療センター	5,100,000	補 委 厚生労働省 創薬基盤推進研 究事業
薬物輸送蛋白(トランスポータ)の機能制御機構に 関する研究	乾 賢一	薬剤部	2,200,000	補 委 大日本住友製薬 株式会社
異分野融合による分子実体に基づく生物物理学的シ ミュレータの開発(中尾一和分)	乾 賢一	薬剤部	2,000,000	補 委 文部科学省
前処理装置を搭載した高感度遺伝子多型検出用バ イオチップシステムの開発	乾 賢一	薬剤部	10,500,000	補 委 東レ(株)
腎グルコーストランスポータNaGLT1に着目した血糖 降下薬の開発	増田 智先	薬剤部	2,000,000	補 委 (独)科学技術振 興機構
ペプチドトランスポートソームの実体解明と発現・ 局在調節における生理的意義	乾 賢一	薬剤部	4,900,000	補 委 文部科学省特定 領域研究継続

注)1国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
2「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
3「補助又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部署	金額(円)	補助元又は委託元
抗リン酸化ペプチド抗体を用いた高感度カルシニューリン活性測定法の開発と臨床応用	乾 賢一	薬剤部	900,000	補 委 文部科学省萌芽研究継続
数理的モデルを利用した薬物トランスポータ輸送ネットワークの解明	津田真弘(DC1) 乾賢一教授	薬剤部	900,000	補 委 文部科学省特別研究員奨励費新規
薬物トランスポータの膜局在決定因子の同定と極性輸送機構の解明	桂 敏也	薬剤部	2,340,000	補 委 文部科学省基盤研究(C)新規
複数の免疫抑制薬併用による効果・副作用の増強と減弱に関する分子機構解明	増田 智先	薬剤部	8,060,000	補 委 文部科学省若手研究(A)継続
正常並びに病態時における小腸及び腎薬物トランスポータの転写制御機構の解明	寺田 智祐	薬剤部	8,190,000	補 委 文部科学省若手研究(A)新規
ヒト有機カチオントランスポータの変動と薬物動態学的重要性	本橋 秀之	薬剤部	2,000,000	補 委 文部科学省若手研究(B)新規
局所尿細管の遺伝子発現変動に着目したシスプラチン腎症進展の分子機序解明	米澤 淳	薬剤部	1,320,000	補 委 文部科学省若手研究(スタートアップ)新規
電子カルテ情報を活用したがん薬物治療に関する薬剤使用評価システムの開発	池見 泰明	薬剤部	760,000	補 委 文部科学省奨励研究(新規)
ゲフィチニブの安全な投与を目的とした副作用と効果予測因子に関する解析	祝 千佳子	薬剤部	760,000	補 委 文部科学省奨励研究(新規)
塩酸イリノテカンによる好中球減少とSLCO1B1遺伝子多型の関連に関する臨床研究	尾上 雅英	薬剤部	760,000	補 委 文部科学省奨励研究(新規)
カルシニューリン阻害剤の体内動態・薬効の母集団解析と個別化投与設計法の開発	矢野 育子	薬剤部	2,200,000	補 委 文部科学省基盤研究(C)新規
タクロリムス代謝物プロファイルに着目した肝移植後の拒絶反応回避に関する研究	下村 昌寛	薬剤部	1,600,000	補 委 文部科学省若手研究(B)継続
ゲノム情報を活用した薬物トランスポータ発現量予測システムの構築とテーラメイド薬物療法への応用	乾 賢一	薬剤部	36,540,000	補 委 厚生労働省創薬基盤推進研究事業
切除不能進行膵癌(局所進行又は転移性)に対するGemcitabine療法 / TS-1療法 / Gemcitabine+TS-1併用療法の第Ⅲ相無作為化比較試験	松本 繁己	外来科学療法部	193,600	補 委 大鵬薬品工業(株)
がん診療教育システム構築	柳原 一広	外来化学療法部	2,600,000	補 委 文部科学省基盤研究(C)新規

注) 1国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3「補助又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

小計15

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部署	金額(円)	補助元又は委託元	
薬物動態・薬理遺伝学に基づいたテーラーメイド抗がん剤治療の標準治療化に関する研究	石黒 洋	外来化学療法部	1,170,000	補 委	文部科学省基盤研究(C)新規
横紋筋肉腫におけるメチル化DNA領域網羅的解析による発癌機構の究明	三沢 あき子	外来化学療法部	1,000,000	補 委	文部科学省若手研究(B)継続
感昌予防効果の薬剤開発	佐々木 陽彦	外来化学療法部	2,000,000	補 委	文部科学省若手研究(B)新規
大腸癌化学療法感受性予測を目指した網羅的なDNA修復酵素の遺伝子多型解析	金井 雅史	外来化学療法部	2,500,000	補 委	文部科学省若手研究(B)新規
非小細胞肺癌にたいする一酸化窒素供与剤併用化学療法開発に関する研究	安田 浩康	外来化学療法部	12,400,000	補 委	文部科学省若手研究(A)新規

計215

注)1国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
 2「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
 3「補助又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

小計15

2 論文発表等の実績

雑誌名	題 名	発表者氏名	所属部門
Journal of immunotherapy	Cyclin-dependent kinaselike 5 is a novel target of immunotherapy in adult T-cell leukemia.	河原真大	血液・腫瘍内科
American Journal of Hematology	Potential of dendritic cell immunotherapy for relapse after allogeneic hematopoietic stem cell transplantation, shown by WT1 peptide- and keyhole limpet hemocyanin-pulsed, donor-derived dendritic cell vaccine for acute myeloid leukemia	北脇年雄 他	血液・腫瘍内科
Biol. Blood Marrow Transplant.	Altered homeostasis of CD4 memory T cells in allogeneic hematopoietic stem cell transplant recipients: chronic graft-versus-host disease enhances T cell differentiation and exhausts central memory T cell pool.	福永 明子 他	血液・腫瘍内科
Biol. Blood Marrow Transplant.	Growth and differentiation advantages of CD4+ OX40+ T cells from allogeneic hematopoietic stem cell transplantation recipients. 14: 268-281, 2008	進藤 岳郎 他	血液・腫瘍内科
Int J Hematol.	A prospective study of cyclosporine a treatment of patients with low-risk myelodysplastic syndrome: presence of CD55-CD59-Blood cells predicts platelet response.	石川 隆之 他	血液・腫瘍内科
Bone Marrow Transplant 2007;40:905-906	Sustained complete remission of refractory enteropathy-type T-cell lymphoma following reduced-intensity unrelated cord blood transplantation.	蝶名林和久 他5名	血液・腫瘍内科
Bone Marrow Transplant 2008;41:591-593	Durable remission of large B-cell lymphoma transformed from lymphoplasmacytic lymphoma/Waldenström macroglobulinemia successfully treated with sequential immunochemotherapy followed by reduced-intensity allogeneic stem cell transplantation.	山本 玲 他7名	血液・腫瘍内科
Bone Marrow Transplant 2008; 41:1073-1075	Consulting clinic for related family donors in hematopoietic stem cell transplantation	村松 裕子 他6名	血液・腫瘍内科
Cell Metab.	Central melanocortin signaling restores skeletal muscle AMP-activated protein kinase phosphorylation in mice fed a high-fat diet.	T. Tanaka, et al.	内分泌代謝内科
J. Biol. Chem.	Genetic and pharmacological inhibition of Rho-associated kinase II enhances adipogenesis.	M. Noguchi, et al.	内分泌代謝内科

注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること（当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。）

2 「研究者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。